

いろいろな見方知って

西尾JC 主権者教育授業

「みらいく」は公益社団法人日本青年会議所が作成したプログラムで、二〇一三年の作成以降、全国の学校や公民館、子ども会などで開催されている。西尾青年会議所も、毎年、高校生などを対象に実施し、主権者としての役割や責任について理解を深めてもらっている。

この日は、三年一組と三組を対象に開催。主権者教育委員会（石原久嗣委員長）のメンバー八人が講師となり、グループワークが行われた。

授業では、いろいろな見方を知り、日常から地域の課題を多角的に判断する意識を身につけてもらうようと、家族で外出先を話し合う場面を設定。祖父は「ゆっくりした



グループワークに臨む生徒ら

い、母は「買い物をする」、妹は「遊園地に行きたい」という思いがあることを前提に、グループごとに話し合いをした。その結果、生徒たちからは「ナガシマスパーランドに行く。遊園地もあり、アウトレットで買い物もでき、ゆっくりできる」「ピクニックに行つて、午後から買い物をする」「いい」などと、それぞれの意見を尊重する結論を導いていた。

その後、メンバーは「この授業は、主権者として『知る、考える、意見を持つ、話し合う、決める』

西尾文化協会

文芸部春の吟行会

杉原千畝記念館・うだつの上町並散策

卯の花や千畝のゆるすパスポート
 聖五月千畝の偉業心うつ
 風薫る千畝氏立派感動す
 若葉風帆をきそう和紙の里
 稜線の定かならずや桐の花
 山滴る身を挺し義を貫きて
 町を守る四百年の樟若葉
 館出てアンネのバラの移ろ彩
 美濃和紙を透きて柔らか薄暑光
 万緑に負けぬ輝き千畝さん
 見下ろせば人道の丘風薫る
 紙の町一直線に夏つばめ
 火事を消す紙バケツある古酒屋
 葉桜や生命重たき資料館
 町割は江戸の名残よ夏燕
 夏の雲命のビザ模す入館証
 案内人と紙の伴天着て涼し
 イヤホンより千畝の声を聴く薄暑
 命のビザ直筆色あせ聖五月
 戦争のことも遠し桐の花
 薫風や人道の丘よく晴れて
 案内人法被は和紙や美濃涼し
 聖五月学生学ぶ千畝館

家族川柳応募作品

言わないで今からやろうと
 おばあちゃんずつと長生き
 すごいねと口だけいつてみ
 どこにでも家族といっしょま
 おでかけは家族のきずな、

- 杉浦 紀子
- 近藤くるみ
- 小野田みよ子
- 榊原はる子
- 坂部喜三江
- 長坂 尚子
- 伊藤 恵美
- 石川とわか
- 加藤千代美
- 古居 晴代
- 新美 町子
- 神取 和沙
- 深見美千代
- 名倉美枝子
- 古賀 敦子
- 乙部 妙子
- 三浦 貞葉
- 岡田つばな
- 金子あきゑ
- 三浦 眞樹
- 池田あや美
- 酒井 英子
- 齋藤 朗笛

四季があります レンガのある風景



西尾市指定給水装置工事業者
 西尾市排水設備指定工事店

水と緑にまじり合っています